

## 同志社女子大学とリベラル・アーツ

女子大学学長 加賀 裕郎  
かが ひろお

## D.W.C.L.A.の由来

同志社女子大学（以下、女子大学）の学則第三条には、「本学の性格は、リベラル・アーツ（Liberal Arts）の大学として規定する」と定められており、英語名「Doshisha Women's College of Liberal Arts」（略称はD.W.C.L.A.）と表記される。同志社の教育理念であるキリスト教主義・国際主義・自由主義は、女子大学の場合には、キリスト教主義・国際主義・リベラル・アーツと定められている。

最初に、女子大学の性格が「リベラル・アーツの大学」と規定された経緯を簡潔に述べておこう。女子大学の前身は同志

社女子専門学校である。第二次世界大戦後の学制改革に際して、専門学校令による高等専門学校教育機関である、様々な形態の専門学校をどのようにするかが問題になった。女子専門学校も専門学校の一形態であり、それを同志社大学に併合するか、短期大学に移行するか、自立した四年制大学となるかの選択肢があった。教授会は最後の選択肢を選んだ。その際、占領軍からリベラル・アーツの大学にするようにとのチャレンジがあったという。

リベラル・アーツの大学は、日本の高等教育の伝統になかったので、創設までに時間を要した。当時の総長湯浅八郎と女子専門学校校長の片桐哲が、初代学長

## 女子大学におけるリベラル・アーツの発展／変化

女子大学は当初、学芸学部一学部だった。そのなかに英文学専攻、音楽専攻、家政学専攻が含まれていた。しかし各専攻の独立性は弱かった。「人間関係」というユニークな必修科目も置かれていた。この科目のねらいは、リベラル・アーツの中核的概念である「人格の形成」に対

応するものと推断される。

女子大学は当初、純粹なりべラル・アーツの大学を指向していた。しかしその後の歩みは、初期の姿を墨守するというのではなく、新しい方向にチャレンジし続けたといつてよい。その大きな一歩が1986年の田辺（現京田辺）キャンパスの開設、短期大学の発足であり、次の大きな一歩が2000年の現代社会学部、2005年の薬学部創設である。

この辺りになると、女子大学は純粹なりべラル・アーツの大学というよりも、リベラル・アーツを大切にしている女子総合大学と呼ぶべきものとなった。

## 女子大学におけるリベラル・アーツの現在／未来

女子大学の歩みを理解するための参照系として、アメリカにおける高等教育の発展を瞥見しよう。アメリカの伝統的な大学はリベラル・アーツの大学である。

後になって国有地付与大学ないし州立大学における職業専門教育を主とする大学とか、ドイツにおけるフンボルト型の研究大学が導入された。こちらは大学を研

究機関と捉える。その目的は専門人の養成である。

こうして大学はリベラル・アーツないしリベラル・エデュケーション、職業専門教育、学術的な専門教育という三つの機能から構成されるようになった。これらのうちリベラル・エデュケーションに特化した大学がリベラル・アーツカレッジである。しかし職業専門教育とか学術的な専門教育を中心とする大学が発展すると、リベラル・エデュケーションはそれらの中に併呑される形で生き残った。

現代の多くの大学は、リベラル・エデュケーション、職業専門教育、学術的専門教育の何れかに特化しているか、またはそれらが混在しているかである。これら大学の三形態のうち、リベラル・エデュケーション、職業専門教育に特化しているのは、概して小規模であり、中規模以上の大学では大学教育の三つの機能が混在している。そうした中でも学術的専門教育を重視する大学は、大きな大学院を有する研究大学であり、リベラル・エデュケーション、職業専門教育を重視するのは学部大学である。

女子大学は学生数約6500人の中規模大学であり、前述した大学の三機能が備わっている。大学院も完備しているが、その在籍数は少なく、基本的に学部大学であり、大学院も高度教養教育という性格が強い。こうした現況において、「リベラル・アーツの大学」とは、どんな意味をもつか。紙幅の関係で要点のみ記す。第一に職業専門教育とリベラル・アーツは対立矛盾するのではなく、相補的であること（詳細は拙論「21世紀型教養教育の基礎的条件」『現代社会フォーラム』第八号、2012年3月）。第二に文系学部のカリキュラムは、専門研究へ向けての積み上げというよりも、「幅広い知識としての教養」を念頭に置いて編成されていること。第三に薬学、看護のような職業専門教育も、リベラル・アーツの本来の意味である「文化の修得による人格の完成としての教養」という文脈で教授されていること。

これら諸点に留意しながら、「リベラル・アーツの大学」としてのチャレンジを、今後とも続けていきたい。